

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの絵と製作 (指導法)	科目コード	50415	担当者	昆正子	
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	選択	
						免許・資格要件	幼稚園免許選択必修 保育士資格選択必修	
科目の主題						成績評価の方法と割合		
幼児の豊かな感性や表現意欲を育むための適切な援助や指導ができる能力の涵養と保育内容の研究						提出物〔作品・レポート等〕 (50%) 臨時試験 (30%) 受講態度〔積極的な参加〕 (20%)		
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標		
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)
1.	材料や用具、技法の扱い方を習熟し、自身の作品制作に活かすことができる						○	○
2.	幼児の発達段階と造形表現との関係について理解する						○	
3.	幼児の造形表現活動において適切な指導や援助について理解する					○	○	
4.	幼児が楽しめるような造形表現活動を計画することができる					○	○	○
授業方法								
身近な材料や用具によるさまざまな造形表現活動とその指導方法について提示し、演習を行う。保育現場での実践事例を紹介し、造形表現の目的や意義を説明する。保育現場での実践を想定し教材研究を行う。								
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)								
予習：教科書や前時に配布されるプリント等を熟読し、必要な用具や材料、計画などを準備してくる。 復習：授業での学習内容をまとめ整理する。								
授業計画								
第1回	オリエンテーション (授業のねらいと内容説明)							
第2回	幼児の造形教育への実践—計画							
第3回	幼児の造形教育への実践—製作①							
第4回	幼児の造形教育への実践—製作②							
第5回	幼児の造形教育への実践—発表							
第6回	幼児の発達と造形表現							
第7回	色彩表現・様々な素材の基礎知識							
第8回	小テスト (幼児の発達と造形表現、色彩表現・様々な素材の基礎知識)							
第9回	いろいろな材料の造形 (身近な材料・用具を使ったおもちゃ)							
第10回	共同での製作 (ものづくり交流の教材実践①)							
第11回	共同での製作 (ものづくり交流の教材実践②)							
第12回	共同での製作 (ものづくり交流の教材実践③)							
第13回	グループ発表①							
第14回	グループ発表②							
第15回	まとめ (保育のなかの造形表現)							
教科書・参考書					受講生へのメッセージ			
教科書：『幼児造形の研究 保育内容「造形表現」』辻泰秀編著、萌文書林 参考書：『保育をひらく造形表現』榎英子、萌文書林					制作の際には、汚れてもよい服装等、各自心がけること。 材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作を必要とする場合がある。			